

コンベンションぬまづ及びキラメッセぬまづの指定管理業務評価結果について

平成 29 年 11 月 9 日
静岡県文化・観光部観光政策課
沼津市産業振興部観光戦略課

1 評価の趣旨

静岡県及び沼津市では、指定管理者制度を導入した静岡県会議場施設「コンベンションぬまづ」及び沼津市多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」における指定管理者の管理運営状況について、学識経験者やコンベンション業界及びMICE誘致に関し識見を有する者等からなるプラサヴェルデ評価懇話会委員による第三者の視点から評価を実施した。

平成 28 年度事業の評価結果については以下のとおりであり、今後の指定管理業務の改善に活用していく。

2 指定管理

(1) 指定管理者

コングレ・コンベンション静岡グループ

代表団体 株式会社コングレ

構成団体 特定非営利活動法人コンベンション静岡

(2) 指定期間

平成 25 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで（6 年間）

3 評価項目

(1) 企画・提案に関する実績評価

- ① 「日本一使いやすい展示施設（キラメッセぬまづ）」の継承・発展
- ② 公の施設に求められる、平等利用、安全面に留意した運営
- ③ 県内外からの積極的な集客
- ④ 地域資源の積極的な活用
- ⑤ 地域の人材育成と活動支援

(2) 管理運営状況に係る実績評価

- ① 施設の管理運営指標の達成度
- ② 管理・運營業務
- ③ 維持管理業務

4 プラサヴェルデ評価懇話会委員

氏名	職業・団体等	備考
中山 勝	一般財団法人企業経営研究所常務理事	座長
渡辺 厚	株式会社あいわす専務取締役	
森口 巳都留	株式会社MICE ジャパン代表取締役社長	
鈴木 素子	鈴木素子税理士事務所 所長税理士	
植田 勝智	ファルマバレーセンター所長	
委員計 5 名		

5 評価結果

(1) 項目別評価

評価項目		評価	講評
(1) 企画・提案に関する実績評価	①「日本一使いやすい展示施設(キラメッセぬまづ)」の継承・発展	4.2	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり業務を遂行し、利用者に対しての利便性向上に努めたこと、加えて、ネットを利用したバーチャルの内覧、施設平面図の刷新など指定管理者にとっての効率と利用者への効果的アピールにつながる仕組みを作ったことを評価する。 ・今後は、よりワンストップサービスの利用範囲を広げ、プラサヴェルデの強みになるよう研究していただき、その結果、利用稼働率、収益面にプラス効果が表れることを期待する。 ・アドバイザーボード開催による意見聴取の実施やアンケート実施回数の増など、利用者の声を吸い上げる仕組みが強化された。今後は、アドバイザーの助言、アンケートの結果に応じたスピーディーな対応をお願いする。
	②公の施設に求められる、平等利用、安全面に留意した運営	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・代表団体の株式会社コングレによる東京、大阪、中部支社との連携をより密にして、回遊性のあるイベントに関しては、積極的に誘致活動を行っていただきたい。 ・地元採用、研修実施は評価できるが、研修については、新人職員に対するOJTやスキルアッププログラムの確立や、プラサヴェルデの利用者により良い催事に向けての提案ができるような職員のスキル取得をお願いする。
	③県内外からの積極的な集客	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の経済効果拡大のためには、県外からの参加や来場が見込めるイベントの誘致、創出をお願いする。 ・静岡県東部地域コンベンションビューローとの協力体制が具体的に実り始めた点は評価するが、役割分担をはっきりさせ、更なる営業の取り組みに期待する。 ・代表団体である株式会社コングレという、日本最大規模のPCOとの連携を活かして、静岡県立がんセンターとの連携などの実績を踏まえた、ローカルホストの掘り起こし、連携強化に取り組んでいただきたい。
	④地域資源の積極的な活用	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・事業提案にある観光・飲食マップの作成は必須なので、プラサヴェルデを含む周辺マップの作成をして欲しい。 ・カフェの認知度が依然十分でないと感じる。 ・施設利用者で午前から午後まで利用する人数等の情報を事前にレストランとカフェ関係者に提供するなど、短時間に集中しないためのシステムを検討して欲しい。 ・自主事業については、地域の活性化を目的に一過性ではない、地域と共に長期にわたって育てていく視点が必要である。施設のなかで開催される催事を地域とどのように連動させていくのか、催事を会場内だけで終わらせない工夫や連携について検討して欲しい。
	⑤地域の人材育成と活動支援	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業の推進については、自主事業開催時のみではなく、静岡屋台、カフェと連携しながら常時紹介や販売するなど、運営や来場者の増加に期待すると共に、6次産業の企業が沼津に集中しているため、範囲の拡大など更なる取り組みの検討が必要である。 ・若手アーティストや学生が活動を発表できる場としての利

		用については、計画から実行へ移して欲しい。
--	--	-----------------------

	評価項目	評価	講評
(2) 管理運営状況に係る実績評価	①施設の管理運営指標の達成度	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・貸室来場者数は、60万人強にとどまっており、来場者数を増やす施策をより強力に進めて欲しい。 ・単純な数値KPIだけでなく、誰が来ているのか、それによりどのように良い変化が生まれるのかなどを考慮した集客が必要に思う。 ・コンベンションホール、展示場施設の稼働率を高めることが課題である。 ・件数ベースでの目標達成は評価できるが、今後は単純な件数だけでなく、利用内容の分析も必要に思う。
	②管理・運営業務	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した運営経営が出来るように計画と現状を絶えずチェックし、無駄の無い職員配置が安定的に継続できるよう現場主義の心掛けをお願いする。 ・長期利用や大型催事誘致による収入増と、発注に関する見積比較などの経費削減努力は見られるが、施設稼働に対する光熱水費を割り出すなど収支分析も必要と思われる。 ・仮予約は予約ではないので、利用の有無を詰めると共に、予約に至らずロスした事案について分析を行って欲しい。 ・ご意見箱の設置を増やし、積極的に利用者のニーズ、クレーム等の把握に努め、引き続き、サービスの向上に努めて欲しい。
	③維持管理業務	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・設備不良等のトラブルによる利用不能は最も避けなければならないため、十分すぎる安全管理に努めて欲しい。 ・今後、軽微な補修が発生すると思うので、保守点検を行うと共に、日常点検は施設の耐久にも関わることから、引き続き、確実に取り組んで欲しい。 ・改善の度合と維持管理の良い状態は確認できたが、廊下等に落としきれない汚れが残っている箇所が散見される。委託業者と協調して除去に努め、引き続き、きれいな管理を心掛けて欲しい。

(2) 総括

項目	評価	講評
総括	4.0	平成28年度指定管理業務における実績は、「よく実施した」と判断する。

参考

評価点	評価基準
4.5～5.0	大変よく実施した
3.5～4.4	よく実施した
2.5～3.4	おおむね実施した
1.5～2.4	不十分な実施だった
1.0～1.4	実施しなかった